

令和7年9月5日（金）

「2025年 自動車産業安全衛生大会」（メッセージ）

一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本自動車部品工業会並びに会員の皆様には、平素、中災防の事業に関し、格別のご理解・ご高配を賜り、誠に有難うございます。先ずもって、本日の「2025年 自動車産業安全衛生大会」が、皆様のご出席の下、開催されましたことを心からお祝い申し上げます。

日本の自動車産業は、常に世界のマーケットと向き合ってきました。その中で、このたびの日米間での新たな関税合意は、産業界全体に大きな影響を与える出来事です。関税引き下げは朗報ですが、依然として企業にコスト増という形で重くのしかかります。このような厳しい経済環境下では、コスト削減のプレッシャーが強まり、ともすれば安全衛生活動がおろそかになりかねません。だからこそ今回は、安全衛生への更なる取り組み強化のキッカケにしたいものです。

安全に関わる費用は、単なるコストではありません。それは、生産性の向上、品質の維持、そして何よりも「働く人の安全と健康を守る」ための未来への投資です。安全な職場環境は、従業員のモチベーションを高め、より良い製品を生み出すための基盤となります。この大会が、皆さん一人ひとりが安全への意識を再確認し、職場に戻った際にその意識を共有し、実践する良い機会となることを心から願っております。

さて、厚生労働省と中災防の主唱により10月1日から7日までを本週間とする「令和7年度 全国労働衛生週間」の準備期間が、9月1日より始まっております。本年のスローガンは、「ワーク・ライフ・バランスに意識を向けて ストレスチェックで健康職場」です。本年5月に成立した改正労働安全衛生法で労働者数50人未満の事業場にもストレスチェックの実施が義務化されます。従前とは大きく異なり対象となる労働者層が広がることになることを契機に、働く上で基本となるこころの健康の確保につき、事業場におけるメンタルヘルス対策をはじめ自主的な労働衛生管理活動に積極的に取り組んで頂きたいをお願い致します。

最後に、私共が主催する「全国産業安全衛生大会」と「緑十字展」についてご紹介致します。現在、万博が開催されている夢洲のすぐ隣、インテック大阪、ATCホールにおきまして9月10日から3日間、「共に築こう 安全・健康 一人ひとりが輝く未来」をテーマに開催致します。加えて本年はバンコクでも日系企業を対象とした安全大会を12月18、19の2日間開催致します。初めての試みとなりますが現地安全衛生担当者の方のご参加をお待ちしております。大阪・バンコク共に「安全衛生の今」を「現地」で、「ライブ」で、体験して頂き、安全衛生の価値観のアップデートをして頂きますようお願い申し上げます。

結びに、本大会のご盛会とともに、自動車産業並びにそれぞれの加盟各社のますますのご隆盛と労働安全衛生活動の拡充、そしてここにご参集の方々をはじめ関係者の皆様のご活躍・ご健勝を心から祈念しまして、御祝いの言葉と致します。

本日は誠におめでとうございました。